

特定非営利活動法人手賀沼トラスト 会報 第29号 発行日:平成25年12月1日)

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目13番5号

e-mail:info@teganuma-trust.jp ホームページ:http://teganuma-trust.jp/



(手賀沼公園にて)

活動報告

創立15周年記念「そば祭り」

交流事業グループ 坂巻 宗男

11月23日(勤労感謝の日)、15周年記念事業のラストを飾る「そば祭り」が盛大に行われました。天気は快晴、穏やかで風もなく、絶好のそば打ち日和です。朝9時の受付前から会場内は賑わい始め、最終的な参加者数は125名! 任意団体として発足した当時からの行事で、今年で15回目となりましたが、過去最高の参加者数です。

今回は自分たちで育てたそばを打って食べるという、いつものそば打ちのほか、「根戸城址芸術祭(?)」と銘打って、コカリナの演奏と山遊亭金太郎師匠による落語が披露されました。山遊亭金太郎師匠は当法人の会員で毎年落語会を行っていますが、今回はそば祭りと合わせ、初めて根戸城址という屋外での開催となりました。

そば打ちはいつものように「蕎麦勉強会」のメンバーが6台のテーブルで講師役となり、6名~7名程度/1台の参加者を指導します。そば粉とつなぎ粉を混ぜ、水回し、まとめ、菊練り、へそだし、地延し、丸出し、本延し、たたみ、包丁と作業が進みます。子供たちは興味津々。子供も大人もそれぞれの工程を体験し、最後は茹で、竹ざるに盛って出来上り、挽きたて、打ちたて、茹でたての「3たて」蕎麦を皆が「おいしい、おいしい」と味わいました。

一方で、根戸城址で行われている「芸術祭」も大いに盛上がりを見せました。グループ「あしたば」の皆さんによるコカリナの演奏。「故郷」「里の秋」「楽しき農夫」「アンパンマンのマーチ」など、童謡や唱歌から子供向けのアニソンまで幅広く演奏して頂きました。紅葉で色づいた木の葉とコカリナの音色は絶妙の調和を醸し出し、里山の風景をより美しく引き立たせていました。

金太郎師匠の落語は待ってましたの「時そば」。そば祭りに打ってつけの題目です。わが家では前の日に子供が「時そば」を読んで予習? していたほどです。まくらでは、扇子の使い方や小唄の披露など、子供から大人まで笑いの渦が沸き起っていました。

そもそも根戸城址でのこのような舞台は故日暮朝納前代表の願いでもありました。前代表が10周年事業として企画していたものの、その急逝により封印されてしまっていたのです。今回、15周年ということで仕切り直し、間伐した杉や竹を利用しながら

ら見事な舞台を作り上げました。これ一回で撤収してしまうのは余りにも惜しいと誰もが感じたに違いありません。それほど素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。きっと誰よりも日暮前代表が喜ばれていることでしょう。

15年活動し続けた根戸城址にまた新たな価値が見出された「そば祭り」となりました。

活動報告

里芋の植付けから収穫まで

農事・農教室グループ 中澤 元一

11月16日(土)、台風の影響で延期になっていた里芋、八つ頭の収穫を行った。前夜の雨も上がり秋晴れの中、大勢の出席者が畑に集合。葉と茎を切り、スコップでの掘り起こし、小芋の取り方等の説明の後、作業を開始した。

栽培の概要:

①品種は石川早生、昨年採取した種芋400個使用。②今年は畝幅80cm(昨年100cm)、株間40cm、平畝6列。③肥料は堆肥全面散布、畝に牛糞、鶏糞、油粕を散布。④芋の上部(芽の方)を上地に8~10cmに植え付け覆土。⑤出芽が遅く心配していたが、後半は順調に生育。⑥夏場の管理は、除草2回、株元にマルチ、土寄せは出来ず。⑦芋の保存は、土の付いたまま乾かし、新聞紙に包んで冷暗所で保管。⑧種芋の保存は地中に埋蔵(換気を充分確保する)し、防寒対策を施す。

圃場についての感想：今年もふれあい通り圃場に植え付け、猛暑で雨が少なく心配したが、圃場は含水量が高く泥土質で最適。刈草のマルチも効果的だった。農家では今年の猛暑、少雨で芋が小さく不作との事。収穫した芋は大小様々だが、昨年同様豊作だった。受講生一人当たり4.5kgをお土産に、来年の種芋、イベント用を確保し、残りを販売することにした。

蕎麦の収穫

農事・農教室グループ 瀧日 明

蕎麦という作物については、信州を旅行したときに蕎麦畑で蕎麦の花が咲いているのを見たことがある程度の知識でした。蕎麦の種まきから始めて開花に感動し、雑草とり、培土等を経て、11月2日(土)に刈り取り、ハザ掛け、11月9日(土)に脱穀に至りました。私にとっては、何故？ほほう！そうなんだ！成る程！全て初めての経験でした。

種まき、雑草とり、土寄せはさほどの労働とは思いませんでしたが、11月2日の刈取り作業はなんとも大変な労働でした。私は5分刈っては一息つき、また5分刈って一休みの連続で、中腰の作業には普段全く使わない腰の筋肉が悲鳴を上げました。しかし、慣れている人は鮮やかな手つきでさくさくと刈り進んでいましたね。人海戦術とは大変なもので、50人から60人程度のマンパワーで、約1300平米の畑の刈取りとハザ掛けが9時頃から12時ごろまでの3時間程度で完了しました。60人で3時間、延べ約180時間の作業です。昔、コンバインなどない時代の農家は、夫婦二人程度でこの180時間の作業を行っていたのでしょから、その労働の過酷さに頭が下がる思いをしました。

11月9日の脱穀は、先に経験した稲の脱穀と基本的に変わりありません。足踏み式脱穀機で脱穀し、唐箕で初穀と塵芥を吹き飛ばす手順は同じです。しかし、稲は実が先端に纏まっていますが、蕎麦は茎の中ほどにも附いているので、茎の中ほども充分注意して脱穀する必要がありました。この日も約50人から60人程度のマンパワーで、作業は午前中で終了しました。収穫量は玄そばで100kg程度で、今年の半分以下だそうです。10月が暑くて温度が下がらなかった事と、台風が2度来て蕎麦が倒伏してしまったことが原因とのことでした。農作物がこれほどまでに気候に支配されるとは考えてもいなかったもので、作物の生育と気候の関係の大きさを身にしみて感じた一日でした。

11月23日(土)はそば祭りです。苦勞して収穫した蕎麦を食べられます。本当に楽しみにしています。

活動報告

平成25年度竹教室活動報告

環境保全グループ 関 重男

4月25日、平成25年度の竹教室が開講した。高瀬講師の元生徒8名でのスタートである。前年度の課題であるランチョンマットが未完成の生徒が半数以上いて、トラスト展までに間に合わせようと奮闘している最中の開講である。

今年度の課題は「手付き花器」で、六角編みと輪口編みを使って籠を作り、それに取っ手をつけるもので、六角編みも輪口編みも殆どの生徒は一度経験している編み方である。第1回目は籠編み用ヒゴ8人分168本と取っ手用ヒゴ16本を作るため、油抜きをして乾燥させておいた竹を80cmの長さに切り、割って削る作業を行った。

竹を割る作業はなれないと左右同じ幅に割れてくれない。真っ直ぐで潔いことを竹を割ったように表現するが、実際の竹はそう素直ではない。偏って割れていくのを修正するには偏りを早く見極める必要があり、また、ある程度の力を必要とし、女性にはやや荷の重い作業だ。口のように手が動かずなかなか埒が通らない。

第2回目は5月22日、引き続き竹を割る作業とヒゴを薄く削る作業、幅を一定にする作業を行った。ヒゴを薄く削る作業は専用の鉋で3段階に分けて除々に薄く一定にしていく。幅を揃える作業も専用の鉋で行うがどちらも慣れないと途中で切れてしまったり細くなり過ぎたりで結構ロスが出る。

第3回目は6月27日、竹ヒゴ作りが完成、一人ひとりに必要な本数を配付し、六角編みに着手する。また、この日、7月5日から始まるトラスト展に展示する作品を持ち寄ってもらい、展示の打合わせを行った。トラスト展には交替で出て、作品やトラスト活動の説明を行った。多くの方が関心を持って来てくれた。

第4回目(7月25日)、第5回目(8月22日)は、引き続き籠を編む作業を行い、完成した人が2名。9月と10月の教室は悪天候のため中止になった。

子供ながらに感じたその商店街の賑わいは今も良く覚えていて、1980年代に一世を風靡した原宿の竹下通り。その人通りの多さでも負けないことから「おばあちゃんの原宿」とも呼ばれ、毎月4日、14日、24日の縁日には多くの参拝者が訪れ、行き交う人たちが境内はすし詰めの様を呈していた。もうお分かりだろう。そう、とげぬき地蔵尊で有名な巣鴨地蔵通り商店街だ。小学校から中学校くらいまで親に小遣いをせびっては良く遊びに行った。商店街の入口付近で塩大福を買い、頬張りながら右に左にと店先を覗き込む。途中うなぎ屋の前で財布とにらめっこをするが、当時の小遣いでうなぎまでは手が届かず、せめても匂いを嗅いで指をしゃぶってあきらめる。さらにブラブラ歩いて行くととげぬき地蔵(曹洞宗萬頂山高岩寺)に到着する。境内に入るとすぐに大きな鉢で香を焚いている。もうもうと立ち上る煙を手のひらでかきとっては身体の悪いところに擦り込むと治るといので煙にむせながらも一生懸命顔と頭に擦り込んだ！結果、大してご利益はなかった。さらに奥に行くと本堂の左手に「洗い観音」がある。ここでも悪いところをタワシでゴシゴシ擦りなさい

と言われたので、またまた顔と頭をたっぷりと擦った。今以ってこの程度、信心が足りなかったのだと悟った。境内を出てさらに商店街を進んでいくと肉屋がある。ここではいつもコロッケとハムカツを買った。揚げたてを食べやすいように油紙で巻いてくれるのだ。ウーン幸せ！今日の昼に食べたコロッケの味はもう思い出せないが、あの時の匂いと味は今でも覚えている。肉屋を後に進んでいくと、今度は店先で焼鳥を焼いている。うなぎはダメでも焼鳥なら！残念無念、小遣いはさっきの肉屋で使い切ってしまった。今度きた時は絶対食べようと心に誓って帰るのだが、たいていの場合小遣いは先ほどの肉屋で底を突く。全く計画性に乏しいばかりだ。

巣鴨を離れて11年。今年の正月実家に帰った際、ふと懐かしく思い久々に地蔵通り商店街に行ってみた。街並は変わり大分綺麗になった。カレーうどんが有名な店や、メロンパンが焼き上がる度に行列のできる店など新しい店も増えた。塩大福も八つ目うなぎもコロッケとハムカツも昔と変わらず健在だった。ただ、かつて在ったであろう辺りに焼鳥屋を見つけることは出来なかった。

【農地法解説】

「農業経営基盤強化促進法」(最終回)

理事 坂巻 宗男

「農業経営基盤強化促進法」とは、そもそも昭和55年に制定された「農用地利用増進法」を全面的に改正し、平成5年に成立したものです。この法律では、意欲的な農業者への農用地の利用集積やこのような農業者の経営管理の合理化等を図ることとされています。

この中で、農地集積を促進するために、「農地利用集積円滑化事業」「農地保有合理化事業」「利用権設定等促進事業」の3つが行われます。

このうちの「利用権設定等促進事業」が、手賀沼トラストにとって大きな影響を及ぼします。この事業は「農用地利用集積計画」とも言われ、「農業経営基盤強化促進法」の18条に位置付けされています。これは、地権者と農家の貸借等を集団的に行うため、市町村が個々の権利移動を1つの計画(農地利用集積計画)にまとめ、個々の契約を取りわすことなく、一挙に賃貸借等の効果を生じさせる事業です。

前回でも記した農地法3条では、貸し手と借り手が相対で契約を結び農業委員会の許可を受けるのに対して、この事業は市が貸手と借手の条件などを整理した「農地利用集積計画」を策定し、この計画について農業委員会の決定を受けるものです。この方式により、貸し手と借り手の契約に対する労力等がなくなるというメリットがありますが、手賀沼トラストにとってはそれだけではありません。農地法3条では借りる際の条件になっていた下限面積要件(=50アール)がなくなるのです。つまり、手賀沼トラストが50アール以下の土地を借りたい場合でも、この事業に基づけば農地法の適用除外として、正式に利用権設定の効果が発生するのです。もちろん、利用権の設定を受ける者の要件として、①農用地の全てを効率的に利用して耕作すること。②農作業に常時従事すること(150日以上/年)等がありますが、これらはクリアできる要件です。

手賀沼トラストが活動する根戸新田地域でも、農家の方々の高齢化などにより耕作をできない土地が増えてきています。これらの農地を荒廃させないためには、法律に基づいた利用権設定を行い、手賀沼トラストが地域の農業の担い手の一つになり得ることを示していかなければなりません。NPO法人化はその一つのステップでもありました。

恐らく、近い将来「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定が手賀沼トラストにも起きることでしょう。それは15年間、この地で土を耕し、泥と格闘し、作物と向き合ってきた私たちの新たなスタートに他なりません。私たちの目の前に広がる農地がこれからも実り多い豊かなものとなるよう、活動を続けていきたいと思います。

今回で「農地法」は終了です。稚拙な原稿で皆さんのお役に立てたか不安ですが、最後までお付き合いいただきありがとうございました。(完)

● 12月～1月度 活動計画(全会員が対象の「合同活動」、「イベント」に「網かけ」をしています。

活動日			開始時間	活動区分	活動内容	担当部門
12	1	日	8:30	合同活動	大掃除、備品類整備、クリーンディ参加	環境保全・事務局
12	7	土	8:30	農教室	H25 年度農教室修了式、芋煮会	農事・農教室 G
			18:00	トラストサロン	健康管理講座 (船戸内科医院瀬島院長)、けやき 8F	事務局
12	8	日	13:00	会議	組織・制度等検討 WG	事務局
12	14	土		会議	農事・農教室スタッフ会議 (時間・場所は後日連絡)	農事・農教室 G
			12:00	ハーブ部会	圃場整備、H26 年度計画 (スタッフ会議終了後)	ハーブ部会
12	15	日	8:30	定例活動	根戸城址周辺清掃、ハス田除草、養蜂管理	環境保全 G
12	20	金	9:00	合同活動	餅つき大会準備 (都合のつく方お手伝い下さい)	交流事業 G
12	21	土	9:00	合同活動	餅つき大会 参加費 500 円、(スタッフは 8 時集合)	交流事業 G
12	22	日	9:00	合同活動	餅つき大会後片付け	交流事業 G
1	12	日		会議	農事・農教室 G スタッフ会議 (時間・場所は後日連絡)	農事・農教室 G
1	18	土		会議	農事・農教室 G スタッフ会議 (時間・場所は後日連絡)	農事・農教室 G
1	19	日	8:30	合同活動	落葉集め、根戸城址周辺清掃、養蜂管理	環境、農事農教室
1	25	土		会議	農事・農教室 G スタッフ会議 (時間・場所は後日連絡)	農事・農教室 G
1	26	日	18:00	会議	H25 年度第 9 回定例理事会	事務局

そば栽培報告 國方幸生

◆今年のそばの栽培は、手賀沼ファーム圃場、ミカン山下圃場、根戸城址下圃場の 3 箇所、約 1,400 m²で行いました。◆8 月 23 日:有志 7 名で牛糞堆肥、発酵鶏糞の施肥、耕耘を行いました。◆8 月 31 日:52 名が参加し、ミカン山下、根戸城址下圃場は平畝、ファーム圃場は高畝で約 4,100gの種を蒔きました。出来るだけ薄蒔きにするようお願いしました。昨年に比べ、上手に蒔いていただいた結果、間引き、追い蒔きの必要は殆んどありませんでした。◆9 月 14 日:台風 18 号対策で、除草を兼ね、土寄せを行いました。ファーム圃場は鈴木さんに管理機で培土をお願いしました。◆11 月 2 日、9 日:両日とも約 50 名の方が参加し刈入れ、ハザ掛け、そして脱穀を行いました。玄そばの収量は 105kg、残念ながら昨年の 1/2 弱でした。2 度の台風襲来で倒伏したこと、開花後高温が続いたことが影響したかもしれません。◆11 月 21 日:茨城県桜川市真壁町の山間にある製粉所で玄そば 90kgを挽いてもらいました。50 メッシュ、電動石臼挽きで 69kg (収率 76.7%)の新そば粉ができました。◆放射能物質測定結果:千葉県に玄そば(2kg)の測定を依頼、結果は Cs134 検出せず、Cs137 7.11 Bq(測定限界値 7.10)でした。(我孫子市のそば出荷規制は解除される見込み)

ありがとうございました！

今年の米作りは、田んぼの中の暗渠に沿って漏水が生じ、大変苦戦をしました。11 月 24 日(日)スタッフの有志 10 人が修復作業を行いました。修復に使用した粘土約 100kgはトラストの会員で陶芸家の岩村守様に寄贈して頂きました。ありがとうございました。(事務局)

餅つき大会開催のご案内！

もう直ぐお正月、今年も「餅つき大会」の時期がやってきました。ご家族、お友達、お揃いで楽しい餅つき大会にしましょう。

記

1. 日 時:12月21日(土) 9時～13時
雨天順延 (お知らせはHPで)
2. 場 所:日暮会場(根戸城址)
3. 参加費:500円(お一人) 中学生以下無料
4. その他:前日(20日)9時から準備作業があります。また、翌日(22日)9時から後片付けがあります。ご都合のつく方、お手伝い下さい。
お問い合わせ:事務局 國方へ(04-7184-3385)

編集後記

- ◆創立 15 周年記念事業年ももう直ぐ暮れる。2 月、極寒の中での『シンポジウム』、7 月、8 月は酷暑の中での『手賀沼トラスト展』と『かかし祭り』、老骨がよく耐えられたものだ。そして、穏やかな小春日和に恵まれた『そば祭り』で締め括り。蕎麦も落語もコカリナも大好評。充実感を味わっている。
- ◆来年は 60 年に一度の甲午(キョウヌマ)。前回の甲午年は昭和 29 年、日本の高度経済成長が始まった年だった。来年がデフレ脱却を確かなものとする年になるか、或いは、兜町で言う「尻尻下がり」となるか、株式市場では一番悪い年回りと言われている。
- ◆さて、来年はどんな年になるのだろうか？ トラストもそろそろ世代交代の時期を迎える、堅実に、着実に歩を進めたいものである。(國方記)